

グループインタビューの実施について

1. 目 的

第5期豊岡市障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定にあたり、障害者総合支援法施行後の障害児・者を取りまく環境について、当事者及び家族・支援者等の声を直接聞くことにより、より実効性のあるサービス提供体制の確保に必要な事項についての意見を伺うことを目的とし、当事者等を含めた市民参画のひとつとして実施します。

2. 実施時期

7月中旬～8月に実施することとします。

3. 実施内容

- ①方 法
- ・障害種別ごとにグループ分けをする
 - ・各グループ1回
 - ・1回あたり、1時間半～2時間。
 - ・進行役は、事前にグループインタビューに通じている人を事務局から選任します。
 - ・事前に質問事項を決めておき、自由に意見交換していただきます。

②グループ分け

	グループ	参加者
A	肢体障害・内部障害者	障害者本人、家族、支援者等
B	視覚障害者	障害者本人、家族、支援者等
C	聴覚障害者	障害者本人、家族、支援者等
D	知的障害者	障害者本人、家族、支援者等
E	発達障害者	障害者本人、家族、支援者等
F	精神障害者	障害者本人、家族、支援者等
G	重症心身障害者	障害者本人、家族、支援者等
H	障害児等	障害者本人、家族、支援者等
I	種別問わず募集	障害者本人、家族、支援者等

・参加者について

- ア) これまで市障害者福祉計画などで市と関係を持っている方だけではなく、可能な限り新しい方（若年層で）も参加していただきます。
- イ) インタビューの活性化をねらい（意見が言い易い環境に配慮し）、障害種別の既存の集まりや活動の機会を生かします。

4. 質問事項

- ◎ 障害者総合支援法の施行から4年が経過しての生活の変化、良くなったこと、悪くなったこと。
- ◎ サービス利用の状況、利用しない理由、利用したいサービス、新たにほしいサービス
- ◎ 豊岡市で不足しているサービス
- ◎ 65歳以上の高齢障害者の介護保険サービスの使い勝手

○グループ別ポイント

A 肢体障害・内部障害者

- ・移動支援サービスの利用について（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・補装具や日常生活用具の給付について（制度の認知など）
- ・介護給付等のサービスの利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

B 視覚障害者

- ・コミュニケーション支援について（ガイドヘルプ、声の広報、点字図書など）
- ・補装具や日常生活用具の給付について（制度の認知など）
- ・介護給付等のサービスの利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

C 聴覚障害

- ・コミュニケーション支援について（手話通訳、要約筆記、日常生活用具の給付など）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

D 知的障害者

- ・就労支援などについて
- ・介護給付等のサービスの利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

E 発達障害者

- ・就労支援などについて
- ・介護給付等のサービスの利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・症状がわかった時期、初期対応の内容
- ・相談相手（医療機関、相談支援センターなど）

- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

F 精神障害者

- ・就労支援などについて
- ・介護給付等のサービスの利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・症状がわかった時期、初期対応の内容
- ・治療について（投薬、定期的診断など）
- ・一般就労での働き方（現状、希望）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

G 重症心身障害者

- ・補装具や日常生活用具の給付について（制度の認知など）
- ・介護給付等のサービスの利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

H 障害児等

- ・児童通所サービスや介護給付等のサービス利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・日常生活用具の給付について（制度の認知など）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

I 種別問わず募集

- ・介護給付等のサービスの利用について
（利用状況、利用しない理由、利用したいサービス）
- ・各種相談について（相談支援の窓口、利用の問題点など）

5. グループインタビュー参加者の選出方法等

A 肢体障害・内部障害者

- ・基幹相談支援センターに参加者（本人、家族等）の推薦を依頼します。

B 視覚障害者

- ・委員の大垣氏に参加者の推薦を依頼します。
- ・支援者として、同行援護等を実施している事業所のヘルパーに依頼します。

C 聴覚障害者

- ・たじま聴覚障害者センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・支援者として、市に登録している手話通訳者、要約筆記者に依頼します。

D 知的障害者

- ・くすの木学校（市生涯学習課）に参加者の推薦を依頼します。

E 発達障害者

- ・地域活動支援センターの～ら、クローバー豊岡ブランチ、トータルハーモニーに参加者の推薦を依頼します。

F 精神障害者

- ・地域活動支援センターほおずき、てっせんの会、ざくろ及び就労継続支援B型事業所ロマンハウスに参加者の推薦を依頼します。
- ・会場1ヶ所に集まってもらい実施します。

G 重症心身障害者

- ・北但広域療育センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている北但広域療育センター内で実施します。
（センター、保護者会に事前に説明、依頼（日時、参加者）しておき実施します。）

H 障害児等

- ・北但広域療育センターに参加者の推薦を依頼します。
- ・いつも通所されている北但広域療育センター内で実施します。
（センター、保護者会に事前に説明、依頼（日時、参加者）しておき実施します。）

I 種別問わず募集

- ・障害種別ごとに実施するグループインタビューとは別に参加していただけるよう、日時、場所を設定し、市ホームページ、防災行政無線で案内し、実施します。